

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期三島市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県三島市

3 地域再生計画の区域

静岡県三島市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、この10年間減少が続き、2015年から2024年にかけて6,227人減少している。年齢3区分別人口は、年少人口（0～14歳）では2015年14,217人から2024年11,589人に、生産年齢人口（15～64歳）では2015年65,811人から2024年58,977人にそれぞれ減少傾向が続き、高齢者人口（65歳以上）は2015年29,366人から2024年31,783人と増加傾向となっている。

出生・死亡による自然動態は、少子化による出生数の減少、高齢者の増加による死亡数の増加が続く一方（2024年902人の自然減）、転入・転出による社会動態は、年次により増減があるが、転出が転入をやや上回る推移となっている（2024年438人の社会減）。

国立社会保障・人口問題研究所による本市の人口の将来推計は2020年より減少傾向は続き、2030年には10万人を下回ると見込まれている。

上記のとおり、自然減・社会減が複合して、近年の人口減少となって表れており、人口の減少が続くと、公共施設、公共インフラ施設における1人あたりの維持管理費等の増加、住民税など個人関連の税収の減少、社会保障関連経費の増大に伴う働く世代の負担増、郊外に住む住民の高齢化と生活利便性の低下などの課題が生ずる。

これらの課題に対応し、人口減少を正面から受け止め、社会を継続的に機能させるべく、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組みなどにより、選ばれる都市を目指し、本市の持続的発展を図る。具体的な事業は、本計画における

以下の基本目標のもとで実施する。

- ・基本目標 1 保つ力 人を呼び込み成長する地域づくり
- ・基本目標 2 稼ぐ力 にぎわいがあふれるまちづくり
- ・基本目標 3 支える力 幸せを実感できる暮らしづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	年少人口(0～14歳)転入 超過数 (住民基本台帳人口移動 報告)	+20人	+30人	基本目標 1
イ	「三島市は子育てしやす い環境」と感じる人の割 合 (市民意識調査)	79.9%	80%	基本目標 1
ウ	企業誘致数(H18年度から の累計)	71社	83社	基本目標 2
エ	観光交流客数	6,477,156人	8,100,000人	基本目標 2
オ	三島市民の幸福度 (市民意識調査)	6.9点	7.0点	基本目標 3
カ	「三島市が住みやすい」 と感じる人の割合 (市民意識調査)	92.1%	93%	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期三島市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 人を呼び込み成長する地域づくり事業

イ にぎわいがあふれるまちづくり事業

ウ 幸せを実感できる暮らしづくり事業

② 事業の内容

ア 人を呼び込み成長する地域づくり事業

本市の活力と経済活動を維持・発展させるため、移住・定住、関係人口創出の促進や出会いの場創出による結婚支援、子育て支援の充実などに取り組む。また、安全・安心な暮らしを守るため、想定される大規模地震や気候変動により頻発する豪雨など各種災害に対して強いまちづくりを進める。未来を担う人材の育成や生産性の向上、生活基盤の確保により、人口減少を緩やかに保つ。

【具体的な事業】

- ・移住・定住の推進事業
- ・子育て支援と人材育成事業 等

イ にぎわいがあふれるまちづくり事業

人々の活気にあふれ、にぎわいのあるまちをつくるため、湧水やせせらぎ、箱根西麓の自然環境などの地域資源を活用した観光振興や商業振興、三島駅南口の再開発、新庁舎整備に伴う跡地活用、市民や来訪者が集う交流拠点の整備などに取り組むとともに、新たな産業創出や企業誘致、スタートアップ支援などにより、新たな民間投資を促し、地域経済が活性化する好循環を生み出す。

【具体的な事業】

- ・三島駅南口周辺の整備事業
- ・にぎわい創出事業 等

ウ 幸せを実感できる暮らしづくり事業

こどもから高齢者まであらゆる年代に健康の視点を取り入れたスマー

トウエルネスな都市づくりを進めるとともに、地域住民がきずなを強め品格あるまちづくりをすすめることで、まちの魅力を高めるとともに郷土愛やシビックプライドの醸成を図る。また、官民連携やデジタル技術の活用により、公共交通や市民生活を支える行政サービスの利便性向上に取り組む。

【具体的な事業】

- ・スマートウエルネスみしま事業
- ・スマートシティの推進事業 等

※なお、詳細は第5次三島市総合計画後期基本計画（第3期住むなら三島・総合戦略を包含）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,000,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度12月頃開催する産官学金労による三島市まち・ひと・しごと創生推進会議において検証し、その結果を速やかに三島市公式ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで